



# 共存共栄の願い大切に 貴乃花氏

**歴史は韻を踏む**  
南 米国と中国の対立が激しさを増しています。「新冷戦」ともいわれる激動の世界を日本はどう乗り越えていけばいいでしょうか。

**宮家** 昨今の世界情勢は1930年代を思わせます。「歴史は韻を踏む」という言葉があるように、歴史は同じような経過をたどる場合があるように注視しています。米中対立は大国同士の覇権争いですが、日本は自由・民主・法の支配・人権などの普遍的な価値を信じる国際社会の一員として、中国が自らの振る舞いを変えるように働きかけることが重要です。

**姜** 新型コロナウイルスの世界的流行もあり、大変な時代に突入したことを実感しています。その一方で危機はチャンスであり、これまで進まなかった改革が一気に加速したのも事実です。今こそビジネスモデルや働き方を根本的に見直すべきときです。最大の財産である「人」を大切に、一人ひとりのアイデアを生かすことが求められます。貴乃花 同感です。危機的

な時代である一方、個人のアイデアが力を持つ時代でもあります。「人」を大切にすると、勢は組織の力を強めるだけでなく、世界の共存共栄にもつながる道だと思います。

**南** 第4次産業革命も加速しています。

**宮家** デジタル化により便利になる一方で、利便性が高まるほど攻撃に対して脆弱になる側面もあります。だからこそ、セキュリティに十分な投資が必要です。安全はタダではありません。セキュリティへの戦略的な投資が中長期的にはコストを抑えることにつながります。

**姜** その通りです。情報社会で安心・安全を確保するには、セキュリティの強化が不可欠です。日本は安全だ、という意識は根強いですが、不測の事態により会社の価値やブランドがダメージを受ける前に、万全の対策を講じておく必要があります。

**南** 海外で相撲道を受けた経験から、こんなことを感じられましたか。

**貴乃花** 日本は古くから世界の優れたものを取り入れ、独自の良さを誇りあげてきました。世界の民族は、すべ

# 激動の世界で 安心・安全を守り抜く

## 鼎談

世界情勢は緊迫の度を増している。第2次世界大戦前夜との共通点を指摘する専門家もいるほどだ。激動の世界でどのように安心・安全を守り、前に進んでいくか。第65代横綱の貴乃花光司氏、キヤノングローバル戦略研究所研究主幹の宮家邦彦氏、セキュアソフト代表取締役社長の姜昇旭氏が、大切にすべきポイントについて熱く語り合った。司会はTVコメンテーターの南美希子氏が務めた。

**「人」を大切に**  
南 貴乃花さんは「貴乃花道場を通して、豊かな心やたくましい精神力を養う取り組みをされています。貴乃花 頭だけで考えていても、なかなか良いものは生まれません。相撲の基本も体を動かしながら考えることにある。行動しながら考える精神の型が大切です。宮家 人類は、技術的に飛躍的な進歩を遂げました

てどこかづながついてくるもの。そう、交流の歴史には、争うことなく共存共栄を願う心が表れています。人と人を結ぶ、世界はつながっているという事実を大切にしたいと思います。姜 相撲道には、何事も正しくやることがという精神性を感じます。IT情報技術も悪用するのではなく、いかに善用するかが肝心です。そのためには、しっかりと教育が必要だと思いま

が、心の面はあまり変わっていないように思います。数千年の歴史をひもとしてみれば、政治も経済も私利私欲こそ判断を誤る最大の要因です。姜 私は50歳を超えて「欲」について考えるようになりました。強欲は戒めなければなりません。肉体的な健康と精神的な健康を両立してこそ良い仕事ができるものです。その意味でも、若い社員には多くの本を読んで考える力を磨いてほしい。貴乃花さんの相撲道の精神からも学び、厳しい環境に立ち向かい、乗り越えたい精神力を養ってほしい。そうした社員教育に力を入れていきます。

**戦略的な投資が不可欠** 宮家氏  
貴乃花 愛媛県今治市の大山祇(おおやまづみ)神社では、豊作を願う御田植祭(おたうえさい)で一人角力(ひとりのずも)が奉納されます。稲の精霊(こし)を三番勝負で相撲を取り、精霊が勝ち越すことで豊作が約束されるという神事です。人間の力を超えた存在を畏敬し、感謝を捧げる。不透明な時代に一步一步、確かな歩みを進めていくには、そうした謙虚な心が大切になるのではないのでしょうか。

**「人」を大切に**  
南 貴乃花さんは「貴乃花道場を通して、豊かな心やたくましい精神力を養う取り組みをされています。貴乃花 頭だけで考えていても、なかなか良いものは生まれません。相撲の基本も体を動かしながら考えることにある。行動しながら考える精神の型が大切です。宮家 人類は、技術的に飛躍的な進歩を遂げました

が、心の面はあまり変わっていないように思います。数千年の歴史をひもとしてみれば、政治も経済も私利私欲こそ判断を誤る最大の要因です。姜 私は50歳を超えて「欲」について考えるようになりました。強欲は戒めなければなりません。肉体的な健康と精神的な健康を両立してこそ良い仕事ができるものです。その意味でも、若い社員には多くの本を読んで考える力を磨いてほしい。貴乃花さんの相撲道の精神からも学び、厳しい環境に立ち向かい、乗り越えたい精神力を養ってほしい。そうした社員教育に力を入れていきます。

# 「人」生かす教育に全力 姜氏



TVコメンテーター/エッセイスト 南美希子氏

第65代横綱 貴乃花光司氏

株式会社セキュアソフト、サービス&セキュリティ株式会社代表取締役社長 姜昇旭氏

キヤノングローバル戦略研究所研究主幹 宮家邦彦氏

(みなみ・みきこ) 聖心女子大学3年在学中にテレビ朝日アナウンサー試験に合格。1977年テレビ朝日アナウンサー入社。女性アナウンサーとして初めてバラエティ番組に出演した。1986年に独立。以来、テレビ・ラジオ・講演・シンポジウムのコーディネーターやMCなどで活躍。著作物は共著・監訳書・文庫を含め29冊に上る。

(たかのはな・こうじ) 入門当時からその優れた素質が話題となり、前評判に違わず数々の最年少記録を打ち立てる。18歳で当時の横綱、千代の富士を破り、20歳で大関、22歳で第65代横綱に昇進した。幕内優勝22回など数多くの記録を残した「平成の大横綱」。現在は一般社団法人貴乃花道場の理事などを務める。

(カン・スンウク) 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。2002年株式会社セキュアソフトを立ち上げ、代表取締役社長に就任。15年にはサービス&セキュリティ株式会社の代表取締役社長、21年3月新たにAnyKan株式会社を立ち上げ、現在、株式会社セキュアソフトを含む3社の社長を兼務している。

(みやけ・くにひこ) 1978年東京大学を卒業し、外務省に入省。日米安全保障条約課長、在中国大使館公使、在イラク大使館公使、中東アフリカ局参事官などを経て2005年に退官。現在、立命館大学客員教授、外交政策研究所代表、キヤノングローバル戦略研究所研究主幹、内閣官房参事。専門は外交・安全保障。

お問い合わせはこちらから!  
TEL 03-5464-9966  
E-Mail: sales@securesoft.co.jp  
SSI: https://www.securesoft.co.jp/  
SSK: https://www.ssk-kan.co.jp/



株式会社セキュアソフト



サービス&セキュリティ株式会社

広告